



平成 26 年 1 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 フレンドリー  
代表者名 代表取締役社長 中井 豊人  
(コード 8209 東証第 2 部)  
問合せ先 管理本部副本部長 鮫島 篤志  
(TEL 072-874-2747)

平成 26 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1 株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	9,337	34	72	14	0.96
今回修正予想(B)	9,193	△264	△214	△278	△19.02
増減額(B-A)	△144	△298	△286	△292	—
増減率(%)	△1.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	9,478	△109	△77	△225	△15.43

2. 修正の理由

政府による経済・金融政策推進を背景に、株式市場は好況が維持され、企業収益や個人消費に改善が見られるなど、景気は回復基調にあります。一方で、弊社の営業地域内の個人消費マインドは、高齢者・勤労世帯とも先行きの不安感が根強く、依然厳しい状況が続いておりますが、平成 26 年 8 月に創業 60 周年を迎えるに当たり、平成 25 年 7 月より各ブランドごとにお客様感謝のキャンペーン等を実施しました。また、老朽化店舗の改装と今後を見据えた業態転換を 2 ヶ店、閉鎖を 1 ヶ店行いました。

かかる結果、稼働日数減少の影響もあり、売上高につきましては期初計画と比べ、若干未達となる見込みです。

一方、利益面では、各種お客様感謝キャンペーンによる経費増、原材料費の価格上昇、電気・ガス料金の値上げに加え、改装や業態転換にかかる一時経費の増加を吸収

できず上記の赤字となる見込みです。なお、改装や業態転換した 2 店舗につきましてはいずれも好結果が出ております。この経験則をもとに今期中に数ヶ店の改装を実施する予定です。

以 上